

住み慣れた地域で、自分らしい生活を、送るために

台東区

在宅療養支援窓口通信

令和7年8月号

No. 15

在宅療養にお困りの方・訪問診療を考えている方のお手伝いをします

○在宅療養支援窓口の相談事例紹介

<区外大学病院からの相談内容>



病院の相談員

数十年前に大学病院で治療を受け、その後ずっと通院していましたが、最近、シルバーカーを押し、なんとか電車で通っていたそうです。入院し、治療を受け、病状は落ち着きましたが、歩くことができなくなってしまいました。

本人と息子様は在宅療養を希望しているため、家の近くでかかりつけ医を持った方がいいのではないかと考えています。

<在宅療養支援窓口スタッフの支援内容>

入院する前は、ご自身のことは自分でできていましたが、退院後は、息子様の介護が必要になります。息子様の不安や困りごとを確認しながら、ケアマネジャーと連携し、家に帰る準備を行いました。

息子様が通いやすい区内の病院に転院し、オムツ交換などの指導を受けて頂きました。同時に、介護ベッドやエアーマット、車椅子の準備をケアマネジャーに依頼しました。また、自宅で体調が悪くなったときに相談できるよう自宅近くの診療所をかかりつけ医として紹介し、訪問診療を導入しました。

入院中に、病院のスタッフ(医師、看護師、リハビリ、栄養士)と、在宅チーム(かかりつけ医、ケアマネジャー、訪問看護師、訪問介護)とのカンファレンスを行い、在宅療養が始まりました。

かかりつけ医 を持っていますか？

東京都医師会より

「健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師のこと」をかかりつけ医と呼んでいます。

継続的に関わることで、身体や症状にあった適切なアドバイスを受けることができます。



適切な医療機関を紹介

入院や高度な設備での検査が必要になった場合、診療科の異なる医師にかかりたい場合など、適切な医療機関を紹介してくれます。

健康診断・健康相談

定期的な健康診断、インフルエンザなどの予防接種、高血圧や糖尿病といった慢性的な病気の診察なども行っています。



かかりつけ医
のできるこ

介護保険の主治医意見書を作成

介護保険が必要になった人の、主治医意見書を書きます。

認知症の早期診断と支援

認知症の早期診断と支援を行うため、介護保険の相談にのったり、必要に応じて専門医、ケアマネジャー、看護師などとともに、ご本人や家族の生活を支えます。

地域での活動 在宅医・ACP

在宅療養が必要な人には訪問診療してくれる医師もいます。医療と介護のいろいろな職種の方々と連絡・連携しながら支援が必要な人への活動を行っています。人生の最終段階における医療についてもかかりつけ医と一緒に考えていきます(ACP:人生会議)。



台東区在宅療養支援窓口 電話:03-5603-0235

